機総督より次の如く全鮮各道の

オロ灣連爆

の態度以下五面目にわたって懸樹、気代以來初めて感情的物理と要す。

なる半島歴民に對する官公吏

南方百粁コックスグザー及びモンドウ附近の敵船舶を攻撃せり、

補給企圖潰の 一、我方の損害 自爆及び未だ歸還せざるもの七機 埠頭を爆砕し邀攀し來れる飛行機大機を撃墜せり 船五隻、五百トン級大隻に大損傷を與 へたる外コックスバザー、敵に與へたる損害。 南磐彈及び室近彈に依り一干トン級喩送

| 「大学のでは、これであり、関係のである。他のでは、 「大学のでは、これであり、関係のである。他のでは、 「大学のでは、 「大学のでは、

總督發言要旨

島関村の政警に食糧増高への発展

五部制を四部制に

新たに審議室設置

情報局機構改組決

の指令は間終するところなく職行 | 決定し、废胚税部形間の耐暴機能| に代ふ聞報脳質師の歐正を決定し、総正は経験である、従うて 官蔵| 覚閲機能の意化制動に刷する性を| 薬においてお蚊割頭力化と、これ する質公野の歌野は特に自重を要「さらに朝戦闘を歌組順力化して猛」公布四月一日より實施することと「1、總難官房に新たに常輩景を設されてゐる。それだけに國因に懲」の剛新調察を行うてきたが、今日「たので上魏神郷市を仰き三十二日」、・ 発来五郎側を四部間としたと

透徹せしめ攻勢的に出ることが必 想整理については最悪の努力を要 東亞戰爭の見透し等に開職して思めのである、從つて貸別問題、大 する。而して思想芸術の要認は自 分がかねがねいる如く日本稿碑を 朝鮮を 買く配き上らせる ために 五、上窓下達については買に能応可能を 買く配きとしてするために 五、上窓下達については関に能応可能の内外は極めて清潔である を極み合せてそる必要あるつ能客の内外は極めて清潔である を極み合せてそる必要ある 選頭面上洞部落に 在住する 採田 員際は何れも婚別して自分を迎へて目の巡視におて 競海道 信川類 四、一般の観応は参助の管処部職になるである。 ることが先づ第一と必要である また名表は客が出現なる際人指 である、よって今後は現地演習まが、実部落には竹山現なる際人指 である、よって今後は現地演習ま

留意を修す との監要なて諸窓の 三、青年特別鍛成の質減で砂線し、超不十分の監なり像、は衝突方面をであるが、この監要なて諸窓の 三、青年特別鍛成の質減で砂線し、道と道、那と紙、面と面との画線の十分でない勘があった。 女子に遊眼し、女子を敬育すると

した、殊に極領が黄海道巡視中宮

しい超熱心にやってある、然しそが極めて多いたも知らず、深ぐま では脳内の成る瞬日には協秀な原

總督、視察成果を說く

たは非常液習等を加味し、即ち實 が、鹽田 農林 局長、四月一日より、10世日までを薬湯別間として変い。 場行道、離底、決劣、展覧商等で、場所内各地で、最近能内各地で、大いに持ち直

一中の変令を以て全都完了するこ 化による過剰員の整理は今明日 による過剰員の整理は今明日

緩和のため寮を設け相當敷を敗しを報告した。

向を 察知する 参考資料として樹

年度の計量造船内容、伊殿東京局

て且所大なることを深

の厳烈化にあるひは活潑なる動外

刊新社》公央中

的に把握せた一大雄鷲。(慣五・○○

送・二〇 四月中旬登登豫定)

橘 先 生 中

村清二著

☆・二〇 四月中旬登登豫定)

送・10 四月中旬豪寶肇忠) 東京書いて光光を放っ名品住作 東京書いて光光を放っ名品住作

譜 舟橋 聖一著

四月中旬級資際定)

本經濟

0

基本動

向

1.

屋

癌の病に闘 癌要方気を

畑作關係打

新山 朗子 *0* 秦木騰夏華 四月上旬經濟

文章 往 來

號月四日の一般日

7

ヤナ田中於嘉瀬

叙日

本人に就いて 肥後和男

大東亞辭令(三十日)

官として陸海軍より各一名を室附

機能可吸長官(II) 機道解令(II) 機道官船本 優

昭和二十一年度において就然の始一國民學校による基礎的皇民領域を

又はその分数場に欧洲し、正規の

女子五鶴、平均七間、見頭綺四十一国に不墨の戸なく家に不思の人な

後任に宇都宮氏

111

青寨縣知底 王田縣日房長 (四) (地方局) 四尾 俊介 粉雜 剪

て待選もらる 秋弘 滥

【釜山電話】脳窓出船の 既代町歩然二 町を納めず

変の島 の 文 な …

坂 7年 中高美 フシンケ 食 深片 河 野 志 一 未健 さまな (人) 放好 論 保 男 繊順 は な 平 午 解 彦 歳

F1月窓以上した水田城

檀

社 造改 七橋新屬芝市京東 二〇四八京東春振

小すまし 字野浩

夜の橋の上・新田母の日」のことなど・尾崎一

2 3 本、美し * H 本…大串鬼代夫

グラビナ 愛馬の日 東部十七部3 軍隊生活に學ぶ。 報道部 秋山中佐 女化船前部最 日比野士朗

どんな観問祭を黄つで感じかつたか。たちに訳線で開いた懸問袋……白衣の勇 い神拜作法の實踐職場 金光搅糊代

空は女學生の手で守れ

宮城野の春…神崎清霄空よい青く…からいたり・・大池唯雄を 花の咲く頃

忠正

果を撃げたに関し、南はニュー

は、なほ狡猾と殿郷に閉されて

反攻の矢面に立ち、男士は國防。

シャン一帯の地域

奈たカントンB の 散軍事施設

使やうやく明くといへども、

揚がる戦果ごその教訓

アラカン山脈越えて印度爆撃に向ふ陸鷲(龗路)=3

に萬金を期するため、第三次朝鮮し校の増設擴元と所要数員の養成と

が方の損害三十艘と酸張し、引目二機に及び、これに對するわ 国國十一隻に大抵以を担へ、母

短時日間に南太平洋及びわれ

際数へられる数が深く目頭いの 力販売にあることは、特にこの 保方に於ける戦力増殖と、生政 殊に三月十五日以來二週間の

観波したといる事實に整面する

中に投ずる機器を固むべきであ り、それこそ今次の海陸空の歌 を旅げて、一切を敵軍艦制の渦

ふべきである。 果に報いる唯一の道であるとい の公布 並に関係所令三年が出揃なねば

て既に成立してをり、今後はこ を通じ六十八條に及ぶ着大なこ

て所謂高度國防國家艦制に即履の目的は要するに電力事業をし

置を終って八月中に朝鮮電楽の 容は極めて重視さるべきもので 今回實施を見ることゝなつた第

り公正安閣なる委員會の審議を いふまでもなく電力國家管理

他のみに重點を置き過ぎると、 統制法令の願りなき選挙が要認 しめて了ふのである。强力なる

というないでは、この影解説、自 的増大を図るとりのるためにはこの影解説、自 断増大を図るといいます。 この影楽的形 複数員を増加着

斯の如く國民學校教員養成の意

官報をもつて公布、四月一日より施行される、高雄変勝の境 こ南方圏の中線地として今次大東亞脈勃發以來台灣の重要

高雄、要港と決定

協立し、既設師範恩校に於て新に

一人出來後

を発入近三分 を発入近三分 を利利無「はにるなと母」 端 円^分円

四月号

1

七萬人を療たに就暴せしむるため、本年度以降四年間に、合計九千八百九島級を増設し、他方ごれに供ふ國民風穆敬員発成計誌に於ては、 の國民暴牧教員を大震奏成せんとする宇宙教養史上職助的なもので、この他現在教員の延的師上を助すべくその再教育記集並に待派政内の脱散、新設師観摩技につき合計計三層級を増新散し、新恩献による完成年度とる 医科士二年三月末に戻ては現在にむし二千名内内の脱散、新設師観摩技につき合計計三層級を増新散し、新恩献による完成年度とる 医科士二年三月末に戻ては現在にむし二千名内

> の受透し得ない影響の地に簡易適 級増加を行ふと共に従來教育施設

域を単位とする學校境設にあつて

題校の新電船に既設図因取役の風 而して今次の擬式配ち石風梭の鍛鉱内に於て園園 ことゝしたのである

おける第三次朝賦人初等教育普及機形計選に於ては難務教育制實施の初年度たる 昭和廿一年度に於て半島人暴勢

見たので、卅日右の二大計畫の内容に関し次の班、墨弥局長版を需要し、その全額を明かにじた、眠ちその内容は、昭和十八年度以前に思定の可以思控歌員発成計畫を関立し、これが身際的實施方衡につき、観意戦師中のところ、既にこれに関する昭和十八年度豫賞も決定を

九千八百學級增設

教員一千名大量養成

義務教育實施へ二大計畫

『監験語によりその郷町及び内容 | 密形像源も決定を見たので弦に前 の實施によって少國民の基礎的輸 内容を統一整備し、服務致育制度 のであつて、義務教育制度置施

|出代昨年十二月線対策職委員會| 樹立その養施方徴につき機震

るものである。即ち昭和十六年以

の爲國民學校教員の全般的な信給

四年山野大田田田本工助

は着一のこは東京大 誌雑局時の海 誌雑合線の海

代理店募集 (取引案內送星) とうこる妖怪の一 (詳細說明書進量) 下

スフダイン本舗

の方は、商工名殿総工業試験的で彫がされて、スフダインの点起した効果を是来一度に、スフ頭化照、スフダインの点起した効果を是来一度に、スフ頭化照、スフダインの点起した効果を是来一度にあった。 て生地が見遠へる程丈夫になり、水村 足後、エアロン、シャラ等が弱くてお味り

般火

用壁壁

に是非當品の御使用をノ野が出來なくなりました家を守り國を壁材料も古來のものでは現代の要求にの防火ご言ふここは益々重視され之にの防火ご言ふこでは益々重視され之に變より大東亞戰爭ご發展するに及んで

鮮ドロマイト工業業會社 本 朝鮮 城津府本

商工省繊維工業試験所で處方された

の発生されています。 市八昭和拾八年曾月拾收資際武會並變更取

分十三…はぶっし

▲石灰壁より安假とて永久不變人獨特なる純白色として着色自在人硬化迅速にして剝落龜裂絕無人セメント同樣簡易な水捏施工

半島義務教育制の準備

の二大討議を樹立質施することに決定、卅日これに関する思称

學級は三割强增加

八口に準じ學校分布

窓町の方法、そでは誘環負間域。運動場で本年度軍事功勢衰衰骸式の蝦蛄配合における密視感度か、終了後、引騰全に後回時から、京城の蝦蛄配合における密視感度が、終了後、用騰全に後回時から、京城のの場合には、

なんと一萬七百十一枚

終了とともに大會會長生形大

労者を表彰 本年度軍事功 錬磨を望む 更に一層の

智地量の素質的上にもある」と一

の首金を祝ひ十一時すぎ別式し

中風・高血厭

感激の乾盃

附南京に遭ってころに三年

してゐるが、

館の記念式

から治療する

今津博士の新しい 療込

小説の影響が、正理ハレ、よるひ シビレなど窓位間の応激ある人 ・ なん島 でせき たん鳥切れ呼

たんは切れ

突撃精神茲に凝る

斃さずばの意気

童鰊成 京城大會終る

成績概して良好 生沼京城大會長講評 興農部落

在鮮華僑の催し決る 記念構演會は林郷領事の検照

公府民館で表彰式 飾る參戦記念日 心総金麒大會を開催、一その他から生徒代表二千名が心総金麒大會を開催、一その他から生徒代表二千名が

世紀の點火 外型鎔鎌爐の火入式

頑張れ半島青年 瞬間が一元氣な初便り

三名を發見 生存者七十 政女學院等等

一、菜集人員 点 深人 者 医乳 海南島行 四畿切手・職職等記記なのた。
文中等學院

統。館

明 鮮油 油 排 株 式 會社 郷 海 神 油 排 株 式 會社 無 一 元 章 社 中 元 章 社 和 年 元 章 社 和 元 章 社 和 元 章 社 和 元 章 社 和 元 章 社 和 元 章 社 和 元 章 社 和 元 章 社 和 元 章 社 金屬回收収 協力しませう 塔/工場集開用器具(アルミ) 養/電氣照明器具(アルミ) 養/投 光 器 目/ 餐 防 圏 用 ポープラ 管 業 所 二川代水町一四〇 朝鮮アルマイト工業領社

及守衛募集

所技術部二問合セラレタシ

渡沒 晋 西本894

文化中學院生徒募集

課社

一、提出書類



スクリームの素



未用

島尾月川仁

湯潮大

になれば手し

士 製 濒

O H

でない単を止め、コカルに

心區

朝日性病科學系

いなー治で

一供家

小清 傳 四五項 州国 1100年

場關陸太陽剛能桃區。由三朝

秦外皇

學學學

場則洋東 座 富 新 館 花 湿

段の決意を期待

歸任を前に 田中總監話る

百一機を居る闘

一一、我方の損害三十機

忽ち現す馬脚

贈り米の、發表新戰



けふ南京還都記念日

し租界返還式

社 東京市日本機区第二八 電話日本銀(24)|583-5592 34|9

疲勞を急速に回復し常 に活力の源泉となる生

産増强に働く人の坐右

に離せぬ「荟茸トニク」

(認識認得) 第二十二章 (関連を表現を含め) 第二十二章 (日本の) 日本と生死を俱に無難

在支敵產百十

秀雄 鐵型 丈夫

虚

出級層 交

ため#日 船舎祉常 別社第 强力純 働<火。精力素

卓拔なる効果を發揮する精力强進劑

神経衰弱、肩・腰髪等を衰、精力減退、高血壓、 日生-四錠及注射ラ併用セン







粒一夕朝 キン精膽精薬 特種動物ホル

「東シ」既称の青年、野奈・開館・野原・中閣(の は、曹は大姑の、妻子乗や、歌扇の変金に、中閣・の 野田に質用され、映画(の 野田に質用され、映画(の

胸。 い方に

心臟

醫學博士 金鵬 換醫學博士 金原鳴番

貓

第乳田

趣雄

祭部長正之

所究研藥新際國

(替来点)

七二大香

思ひ出多き日本租界五十年史

内においては前國人に居住の徹を

ガ翁容態再び惡化

K

る四十四年、

能緩和艦の血の暴動を契機として

場件の結果『清國政府各國公田

初の懸都三周年記念日を選 は一段と前捌 中國よっさあどうぞ

は在留邦人も鑑か一千四、五百名、第一次奉出版学、第二次奉 で概として離く微微の日、中國の 週の組織と共に排究も警察の一会 で概として離く微微の日、中國の 週の組織と共に排究も警察の一会

の研究はオアシスでもあり、また「まれて發足、明治卅四年初代北交大股に維張する日本人にとさてと「足らずで諸外國の取物居留地に摂

高め、黎元洪の天津重人、吳原子

步いてきた天曜日本和州であった 年『公庫酸區域』が が記された

英伊和麗獨獎白日

心に急遽かけつけたといはれる

年には湖州方面へ出動する邦人が

行人の顔も

を下げた、同生共死が描く美しい

なら』と九段の社に別れる情みな 東京電話】『お父さん、さやう | 櫛鰕の御椒摎を申上げた、この日 明日に瞬國を控へた朝鮮澄 华島遺兒、 光榮に感激 李王殿下記念品を賜る

窓居井町の李王家御殿に命陵一窓で茶果を贈び兩慶下には暫し数。は今回響長常用試験を來る廿日か 殿下には御襲ろに逊見達をお出頭 共にとくに記念品を賜り、次で別

をお見送り中上げて恐懼御殿を逃

がお職の言葉を述べ殿下の御出師

ら成興並に細門兩種祭官調密所

熱心に見守る鮮服の婦人

問若人が鋭線道に載へる國民武装 まむりの熱火闘魂ー 全身これ からてし止 いて突いて突き扱く木 かけて熟で埋める、選上の家族で とみつめてある、一試合窓つて甍

弔ふ郷土の忠靈

像と続ぶその美敵、それはやがて

あす京城師團の合同告別式

神祇宮司の祭詞あり主催者の弔詞と欠いで、武は修祓、降神、献儀に次いで甕丰市京城

6 (章干團)

朝取

店商藏清海内 明治明城京



创催生[通过株



大撃ちてし止まぬメ とれからの様式は…… とれからの様式は…… 今世記に五大四島通常様行である 今世記に五大四島通常様行である 田原株式店現物部

大東亞版下、一寒一殺、必勝信念に燃えて大 迸る必殺 白兵戰宛 成鍊道劍銃

宗し、銃劈と入り聞れて一級

二四二十二五九

と大帝を遊り、ついで全解大帝々長山本中将の告辭(阿村少 こゝに閉式、かくて同九時、参加全員からなる集部訓練から 今こそ銃後の青少年が錬成修錬に努むべき國民 込齢が

あつて

田中政

派

関係たる喇叭の合岡で突襲を終

しばし熟

それより同じく中等態生、

は野の大地を願ってば日京城運動場に進壯無比な繋を切って 落した、関れのこの大質めざして大質選手及び整質者二千名

刺突凱線あつて中原學一の突峰を飛行りウオ に響き渡る突駆喇叭の合図に必死 必勝の信念 - 単画馬の間に鍛へた瀬に

を誇示し最後に郷田圏間流技

昂揚は急務

式株

弱含み

けふの市況(昔

の姿勢で集闘災難の賦形を

★品周波する

實物一ヂリ貧

重點株の検討 日本マダイの地質

貯債 蓄券 世子園 2012年 第15278 64539 (21539 (2278 (2278 (2278) (2278) (2278) (2278) (2278) (2278) (2278) (2278) (2278) (2278) (2278) (22788) (2278)

庭疏果農 作 木菜樹物

ヤ川 ₹ 葬 儀 流柱

齒痛に

かぜ熱

スグギグ

門情を 拜納致一歳の 高齢を

灰化島の酸は御酢退用上版

店商作源本山

目丁一町治明府城京 番一九一五©表代話電社会式株券證源山州; 新八町 茂加 天奉

軽き減の記録・

アメリカ・イギッス

月やく

元 超 😡 元的数数数 同同要 13

未輸につき本日休敝

小說「後三國志」原稿

120

戰時債券當簽番號表 (共/云) 貯債 蓄券 4

マースーパーマールの有効の外に成分を有します。 が変を有します。 がの外に成分・ がの外に成分・ がのからになり、 がのからいる。 がのからい。 がのい。 がのい。

型解例ルーマト 地震三五大町州場府山路 省大九三三・四七五四島市 六四八九山後海振

V

7)